

## USPTO 2015 年度の特許出願件数は前年度比 1.8%減と予測

2015 年 6 月 5 日

JETRONY 知財部

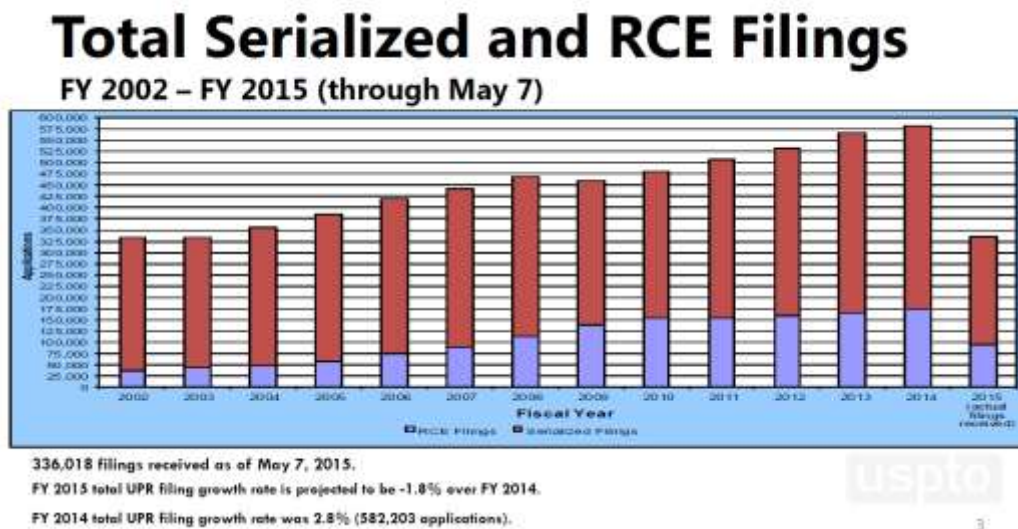
今村、丸岡

USPTO の Andrew Faile 特許運営担当副特許局長は、2015 年度の特許出願件数は前年度比で 1.8%減少すると予測していることを明らかにした<sup>1</sup>。2 月に開催された特許諮問委員会 (PPAC) 四半期会合の中で同氏は、2015 年度の特許出願件数は前年度比で 2%増加すると予測している。

USPTO は特許出願件数の減少理由を明らかにしていないが、特許出願受理日と担当テクノロジーセンターの決定日にはタイムラグがあることを前提にしつつも、現状、出願件数の減少は全てのテクノロジーセンターで見られることを明らかにしている。さらに、手数料収入の減少に備えて職員採用計画などを調整中であることも明らかにした。

USPTO における 2014 年度特許出願件数増加率は 2.8%で当所の予測値 5%を下回った。また、同庁は 2016 年度予算要求の中で、特許出願件数増加率が予測値を下回る可能性があるとして、2014 年度から 2019 年度にかけての予想手数料収入を 12 億ドル下方修正している。

同庁の最高財務責任者である Tony Scardino 氏は、USPTO は現在、手数料の改定案を検討中で、今秋までに改定を実施するか否かを決定する予定があることを示唆している。



<sup>1</sup> [http://www.uspto.gov/sites/default/files/documents/20150514\\_PPAC\\_Patent\\_Operations\\_Update.pdf](http://www.uspto.gov/sites/default/files/documents/20150514_PPAC_Patent_Operations_Update.pdf)